

阪急阪神ホールディングスグループの環境活動

E-ECO Vol.6

Everyday Everywhere いいエコで、いこう。

今回の取り組みを行っている団体
阪急バス株式会社 阪急 阪神エムテック
阪急阪神ホテルズ株式会社 いろいろなダイニング
阪急不動産株式会社

阪急バスのバイオディーゼルバスの燃料の原料はどこから来てるの？

- ①六甲山ホテル ②マンション「ジオ」 ③学校の給食センター



答 ①②③全部正解：阪急バスのバイオディーゼルバスの燃料は、グループのホテルや食品工場・店舗、池田市内の小学校や、マンション「ジオ」などから回収した使用済み食用油から作られています。

グループのホテル等で使用済み食用油を回収
阪急バスの社員食堂、阪急阪神第一ホテルグループの一部ホテル、いろいろなダイニングの工場、店舗で使用済み食用油を回収。豊中病院線及び吹田摂津線で使用するバイオディーゼル燃料の原料としています。グループ一体となった取り組みが評価され、2010年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰で国土交通大臣賞を受賞しました。



六甲山ホテル



いろいろなダイニング「タックデリ御膳」

池田市内の小学校、給食センターで使用済み食用油を回収
池田市内線では、池田市内の小学校や給食センターから回収した使用済み食用油を原料としたバイオディーゼル燃料を使用。市民の方々、自治体と連携した環境施策の推進が評価され、池田市の第1回環境トップランナー賞を受賞しました。



マンション「ジオ」に回収ボックスを設置
阪急不動産が分譲するマンション「ジオ」に回収ボックスを設置。入居者の方々のご協力により回収した使用済み食用油を、茨木美穂ヶ丘線で使用するバイオディーゼル燃料に利用。環境への貢献が身近に実感できることで参加意欲や環境配慮行動への意識を高めている点が評価され、2012年度グッドデザイン賞を受賞しました。

